第１学年　音楽科学習指導案

1　題材名　　音楽を形づくっている要素がどんな印象を作り出しているか考えよう
（音楽のおくりもの　中学音楽１　「どんな特徴があるかな？」）
教材曲：きらきら星変奏曲（作曲：W.A.モーツァルト）
ピアノ：ジョナサン・ヒンデン

2　題材の目標

○「きらきら星変奏曲」の曲想およびその変化と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。〔知識・技能〕

○「きらきら星変奏曲」における音楽を形づくっている要素（リズム・旋律・構成など）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。〔思考・判断・表現〕

○リズム・旋律・構成などの変化によって生み出される雰囲気の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。　〔主体的に学習に取り組む態度〕

3　題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知　「きらきら星変奏曲」の曲想およびその変化と旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。	思①　「きらきら星変奏曲」における音楽を形づくっている要素（リズム・旋律・構成など）を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 思②　「きらきら星変奏曲」に対する評価とその根拠について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	態　「きらきら星変奏曲」を聴く活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4　本時の構想

（１）本時のねらい

「きらきら星変奏曲」の第１変奏について、どのような感じがするかの理由を考える活動を通して、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。

（２）本時の流れ

	○教師の働き掛けと・予想される生徒の反応	■評価規準と・留意事項等
導入 （10 分）	○「きらきら星変奏曲」のテーマを提示する。 ・　聞いたことがある曲だ。 ・　「きらきら星」だね。 ○「きらきら星」の由来を説明する。 ○「きらきら星変奏曲」の第１変奏を提示する。 ・　さっきの曲と似ている気がする。 ・　何の曲かわからないな。 ・　「きらきら星」がアレンジされているみたいだ。 ○「変奏曲」について説明する。「きらきら星変奏曲」の作曲者がモーツァルトであることにも触れる。 【課題】「『きらきら星変奏曲』にはどのような工夫がされていますか？」	
展開① （10 分）	○第１変奏を聴いて感じたことを考えさせる。 【発問１】「第１変奏を聴いてどのような感じがしますか？」 ＜方法＞ ① 学級全体で第１変奏を２回聴く。 ② 感じたことを提示したシートを用いて，ロイロノートで提出させる。（シートⅠ） ・星がキラキラしている感じ ・星が踊っている感じ ・華やかな感じ　・流れ星みたい ③ 回答共有を行う。	・「星」にこだわらず、感じたことをロイロノートで提出するよう、働きかける。
展開② （10 分）	○展開①で感じたことの根拠を、音楽を形づくっている要素を元に考えさせる。 【発問２】「なぜそのように感じたのですか？　音楽の要素や楽譜を根拠に考えましょう」 ＜方法＞ ① 学級全体で第１変奏を２回聴く。 ② 感じたこと、なぜそのように感じたのか、書き込み可能な楽譜（テーマ・第１変奏）を提示したシートを用いて、ロイロノートで提出させる。（シートⅡ） ・リズムが細かくなっているから ・音がいっぱいあるから ・楽譜で音符がたくさんあるから ・音が高いところから低いところに動いているから	・「音楽の要素」はファイルに閉じてあるプリントを参照させる。 ■知覚したことと感受したこととの関わ

	③ ロイロノートによる回答共有を行う。 ④ シートⅡの内容を発表し、音楽を聴いて確認する。 〇リズム、旋律、構成などの音楽を形づくっている要素や楽譜を根拠としている回答に着目させる。 ・１６分音符となり、リズムが細かい ・旋律が元の旋律の近くで動いている ・左手は最初は同じだが、後半はリズミカルに	りについて考えている。 ・なぜ第１変奏がきらきら星っぽいか、テーマと比較して確認する。
展開③ （10 分）	〇第５変奏・第８変奏・フィナーレを聴き、感じたこと・なぜそう感じたのかを考えさせながら、自分が気に入った一つを選択させる。 【発問３】「あなたが紹介したい変奏を一つ選び、第１変奏と同じようにシートⅡに「どのような感じがしたか」と「なぜそのように感じたのか」をまとめ、提出しなさい。」 <方法> ① ワークシートを配布する。 ② 第５変奏・第８変奏・フィナーレを２回ずつ聴く。 ③ それぞれワークシートに感じたことを記入する。 ④ 自分が気に入った一つを選択し、ロイロノートのシートⅡを提出させる。 （第５変奏） ・かわいらしい感じ→音の数が少ないから （第８変奏） ・切ない感じ→フラットがあるから ・とぼとぼと歩いている→スタッカートで始まっているから （フィナーレ） ・華やかで盛り上がる感じ→音の数が多く、今までと違う３拍子だから ・勢いがある感じ→左手のリズムが細かいから 〇次時は、なぜその変奏が気に入ったのかの理由についてまとめることを確認する。	■知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。

（３）本時の評価

A：知覚したことと感受したこととの関わりについて、妥当と思われる内容を発言したり、ロイロノート等のワークシートで記述したりしている。

B：知覚したことと感受したこととの関わりについて、おおむね妥当と思われる内容を発言したり、ロイロノート等のワークシートで記述したりしている。